



議員提出議案第一号

部落解放基本法制定に関する要望決議について

このことについて、別紙のとおり決議を求めらる。

昭和六十年六月二十六日

提出者	三朝町議会議員	徳田一彦
賛成者	三朝町議会議員	牧田禎
賛成者	三朝町議会議員	御船積
賛成者	三朝町議会議員	福田家
賛成者	三朝町議会議員	西村武津美

昭和六拾年六月廿六日

原案可決

三朝町議会議長名越典由

### 部落解放基本法制定に関する要望決議

同和問題は、人類不変の原理である人間の自由と平等にかかわり、同時に日本国憲法によって保障された基本的人権に関する問題である。

国及び地方公共団体においては、昭和四十年の同和对策審議会の答申以後、今日まで同和对策事業を積極的に推進し、これの解決に相応の成果をみているところである。

しかしながら、今日なお差別事象が惹起していることは、誠に遺憾であり、また「地域改善対策特別措置法」の有効期限が余すところ二年となった現在、同和問題の完全解決への課題は山積しているといわねばならない。

よって、政府におかれては、これらの現実をふまえ、健康・就職・教育等各分野の抜本的な施策の充実、差別解消に対する啓発活動の強化など、同和問題の早期解決のため、基本的法律等、新たな法的措置を講じ、総合的な施策の確立が図られるよう強く要請する。

昭和六十年六月二十六日